

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : **05-160979**

(43)Date of publication of application : **25.06.1993**

(51)Int.CI.

H04N 1/32
H04L 12/02
H04M 1/66
H04M 11/00

(21)Application number : **03-320815** (71)Applicant : **RICOH CO LTD**

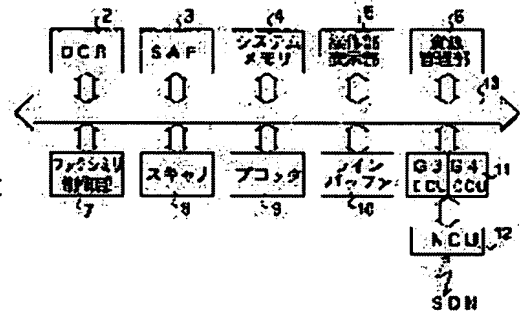
(22)Date of filing : **05.12.1991** (72)Inventor : **SATO KAZUHIRO**

(54) FACSIMILE EQUIPMENT

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a facsimile equipment which makes termination from the other facsimile equipment having top priority effective by storing identification information on the other facsimile equipment to be terminated with top priority, comparing identification information analyzed from an incoming call setting message with the stored identification information, and giving the top priority to the termination from the other facsimile equipment having the top priority after a communication process is forcibly ended or after the communication process ends when both the pieces of identification information coincide with each other.

CONSTITUTION: If there is an incoming call during a G3 communication, an INCU 12 informs a communication control part 11 of the incoming call and the communication control part 11 inquires of a facsimile control part 7 whether or not the incoming call may be accepted. The communication control part 11 analyzes the terminal identification information sent from the other FAX with the call setting message in response to the incoming call and outputs it to the facsimile control part 7, which compares the identification information with the top priority which is registered in a system memory 4 previously with the identification information at the time of the termination and interrupts the G3 communication being processed when they coincide with each other.



BEST AVAILABLE COPY

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-160979

(43)公開日 平成5年(1993)6月25日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N 1/32	C	2109-5C		
H 0 4 L 12/02				
H 0 4 M 1/66	C	9077-5K		
11/00	3 0 2	7117-5K		
		7608-5K		
			H 0 4 L 11/ 02	Z
			審査請求 未請求	請求項の数3(全 8 頁)

(21)出願番号 特願平3-320815

(22)出願日 平成3年(1991)12月5日

(71)出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72)発明者 佐藤 和弘

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式
会社リコー内

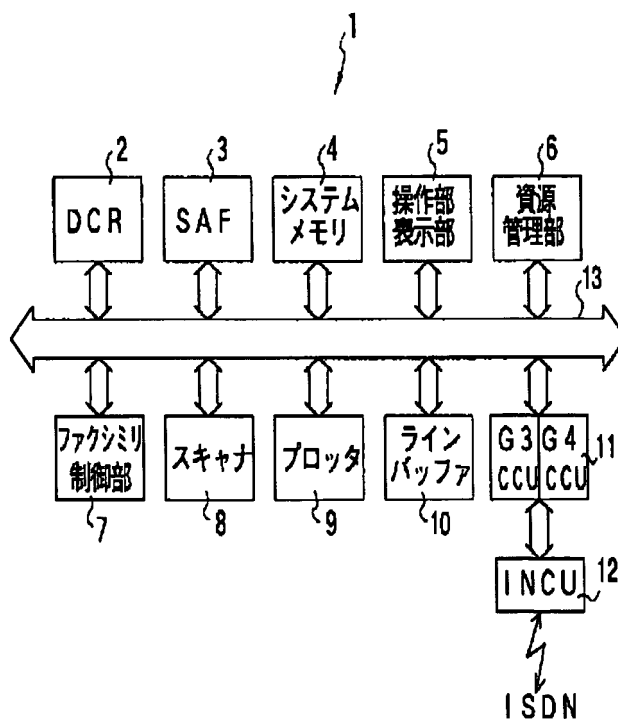
(74)代理人 弁理士 有我 軍一郎

(54)【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57)【要約】

【目的】本発明は、ファクシミリ装置に関し、最優先で着信させる相手ファクシミリ装置の識別情報を記憶し、交信中に、着信した呼設定メッセージから解析した識別情報と記憶した識別情報を比較して一致したとき、交信処理を強制的に終了、あるいは交信処理終了後、最優先の相手先からの着信を優先し、最優先の相手先からの着信を有効とするファクシミリ装置を提供することを目的とする。

【構成】G3交信中に、着信があったとき、INCUI12から着呼が通信制御部11に通知され、通信制御部11からファクシミリ制御部7に着呼を受け付けてもよいかわい合わせが行われる。着呼により相手FAXから呼設定メッセージにより送信される端末識別情報が通信制御部11で解析されてファクシミリ制御部7に出力され、ファクシミリ制御部7では、予めシステムメモリ4に登録されている最優先の識別情報と着信時の識別情報が比較され、一致したとき、処理中のG3通信を中断させる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】ISDNに接続可能で、ISDNの呼制御手順を実行して相手ファクシミリ装置との間でISDNを介してファクシミリ通信を行い、画情報の送・受信を行うファクシミリ装置において、

最優先の着信を許可する相手先識別情報を記憶する識別情報記憶手段と、

接続されたISDNからの着信を検出し、該検出した着信信号に含まれる発呼側の呼設定メッセージから相手先識別情報を解析する解析手段と、

を設け、ISDNのデータチャネルを介して所定の相手ファクシミリ装置との交信中に、ISDNの呼制御チャネルに着信したとき、該着信信号を解析手段により解析した相手先識別情報と識別情報記憶手段に記憶した相手先識別情報が一致するかどうかを比較し、一致したときは、当該相手ファクシミリ装置とのファクシミリ通信を強制的に終了し、着信最優先の相手ファクシミリ装置からの着信を優先させることを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】請求項1記載の発明において、

前記交信中に着信した相手先識別情報が一致したとき、該交信中の相手ファクシミリ装置とのファクシミリ通信を終了した後、該着信以外のサービスを受け付けなくようにすることを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項3】請求項1記載の発明において、

前記識別情報記憶手段に相手先識別情報として呼設定メッセージに含まれる着信サブアドレスを記憶し、前記交信中に着信した相手先識別情報の着信サブアドレスが一致したとき、該交信中の相手ファクシミリ装置とのファクシミリ通信を終了した後、該着信サブアドレスが一致した相手ファクシミリ装置からの着信サービス以外を受け付けなくようにすることを特徴とするファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明はファクシミリ装置に関し、特に、ISDNの呼接続メッセージ授受の際に示される着信サブアドレスを利用して各種通信サービスを提供するファクシミリ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】近時、高度情報社会を実現する通信ニーズに対応する通信網としてISDN（サービス総合デジタル網）が実施されており、このISDNに対応する各種ISDN通信装置も開発され、実用化されている。例えばISDN対応のファクシミリ装置としてはG4規格のものが実用化されており、このG4規格ファクシミリ装置の多くのものがG3規格と電話機能に対応している。

【0003】また、ISDNと各ISDN通信装置との間には終端装置が接続されるようになっており、一つの終端装置には複数のISDN通信装置としてファクシ

ミリ装置がバス接続可能である。バスを内線として複数のファクシミリ装置が接続される場合は、同一宛先アドレスだけでは送信側が宛先アドレスによって一つのファクシミリ装置を特定することができないのでバス上の各ファクシミリ装置にはサブアドレスが決められて管理されることになる。したがって、ISDN通信システムでは送信側はファクシミリ装置に宛先アドレスとともにサブアドレスを指定することによって受信側の一つのファクシミリ装置を特定することが可能となっている。

【0004】具体的には、ISDNの1回線分には、データチャネルとして2つのBチャネルと、制御チャネルとして1つのDチャネルが設けられており、バスの内線には、最大8台の端末が接続可能となっている。したがって、ISDNに接続されるファクシミリ装置では、Dチャネルにより相手ファクシミリ装置と呼の接続制御を行った後、Dチャネルを開放して一方のBチャネルにより画情報の授受を行っている最中でも、Dチャネルを開放しているため、別の相手ファクシミリ装置からの着信を受け付けて他方のBチャネルにより交信することが可能である。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このような従来のISDNに接続するファクシミリ装置においては、所定の相手ファクシミリ装置との交信中に着信を受け付けることが可能であっても、同時に2つの相手ファクシミリ装置との交信を行う機能を有さないファクシミリ装置では、2つの交信要求に答えることができない。このため、交信中に、他の相手ファクシミリ装置からの着信を受け付けたとしても、実際には、データの授受に移行することができず、前もって送信先に電話等で連絡をとってから送信を行わなければならない、緊急を要する場合等に送・受信側ユーザーの手をわずらわせるといった問題が発生していた。

【0006】このような交信中の着信に伴う問題に対処するものとして、例えば、特開平2-36657号広報に記載された通信装置があり、この通信装置では、予め着信を許可する相手先の識別情報を登録しておき、登録した相手先以外の着信を拒否し、また、この着信拒否制御を無効あるいは有効とするようにして、着信を制御している。

【0007】ところが、この通信装置では、着信を許可する相手先を登録し、登録した相手先以外の相手先からの着信拒否の有効、無効を制御するようにしているだけなので、許可する相手先からの着信に対しては、優先的に着信させるような制御を行っていないため、着信拒否を無効としているときの交信中等には、やはり着信を許可すべき相手先との交信が不可能となるため、上記問題は、解決されない。

【0008】そこで本発明は、最優先で着信させる相手ファクシミリ装置の識別情報を記憶し、交信中に、着信

した呼設定メッセージから解析した識別情報と記憶した識別情報が一致したとき、交信中の処理を強制的に終了し、あるいは交信中の処理を終了した後、着信最優先の相手ファクシミリ装置からの着信を優先し、また、着信以外のサービスを受け付けないようにして、交信中の着信最優先の相手ファクシミリ装置からの着信を確実に有効とするファクシミリ装置を提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】請求項1記載の発明は、ISDNに接続可能で、ISDNの呼制御手順を実行して相手ファクシミリ装置との間でISDNを介してファクシミリ通信を行い、画情報の送・受信を行うファクシミリ装置において、最優先の着信を許可する相手先識別情報を記憶する識別情報記憶手段と、接続されたISDNからの着信を検出し、該検出した着信信号に含まれる発呼側の呼設定メッセージから相手先識別情報を解析する解析手段と、を設け、ISDNのデータチャネルを介して所定の相手ファクシミリ装置との交信中に、ISDNの呼制御チャネルに着信したとき、該着信信号を解析手段により解析した相手先識別情報と識別情報記憶手段に記憶した相手先識別情報が一致するかどうかを比較し、一致したときは、当該相手ファクシミリ装置とのファクシミリ通信を強制的に終了し、着信最優先の相手ファクシミリ装置からの着信を優先させることを特徴とし、請求項2記載の発明は、請求項1記載の発明において、前記交信中に着信した相手先識別情報が一致したとき、該交信中の相手ファクシミリ装置とのファクシミリ通信を終了した後、該着信以外のサービスを受け付けないようにすることを特徴とし、請求項3記載の発明は、請求項1記載の発明において、前記識別情報記憶手段に相手先識別情報として呼設定メッセージに含まれる着サブアドレスを記憶し、前記交信中に着信した相手先識別情報の着サブアドレスが一致したとき、該交信中の相手ファクシミリ装置とのファクシミリ通信を終了した後、該着サブアドレスが一致した相手ファクシミリ装置からの着信サービス以外を受け付けないようにすることを特徴としている。

【0010】

【作用】請求項1記載の発明では、相手ファクシミリ装置との間でISDNを介してファクシミリ通信を行い、画情報の送・受信を行うファクシミリ装置において、最優先の着信を許可する相手先識別情報を記憶する識別情報記憶手段と、接続されたISDNからの着信を検出し、該検出した着信信号に含まれる発呼側の呼設定メッセージから相手先識別情報を解析する解析手段と、が設けられ、ISDNのデータチャネルを介して所定の相手ファクシミリ装置との交信中に、ISDNの呼制御チャネルに着信したとき、該着信信号を解析手段により解析した相手先識別情報と識別情報記憶手段に記憶された相

手先識別情報が一致するかどうかを比較され、一致したときは、当該相手ファクシミリ装置とのファクシミリ通信が強制的に終了され、着信最優先の相手ファクシミリ装置からの着信が優先される。したがって、交信中の着信最優先の相手ファクシミリ装置からの着信を短時間で確実に有効とすることができ、送信側ユーザーと受信側ユーザーの手をわずらわせることを解消することができる。

【0011】請求項2記載の発明では、上記請求項1記載の発明において、交信中に着信した相手先識別情報が一致したとき、該交信中の相手ファクシミリ装置とのファクシミリ通信を終了した後、該着信以外のサービスを受け付けられない。したがって、交信中の相手ファクシミリ装置との処理を終了させた後、着信最優先の相手ファクシミリ装置からの着信サービスだけを有効とすることができ、送信側ユーザーと受信側ユーザーの手をわずらわせることを解消することができる。

【0012】請求項3記載の発明では、上記請求項1記載の発明において、識別情報記憶手段に相手先識別情報として呼設定メッセージに含まれる着サブアドレスが記憶され、交信中に着信した相手先識別情報の着サブアドレスが一致したとき、該交信中の相手ファクシミリ装置とのファクシミリ通信が終了した後、該着サブアドレスが一致した相手ファクシミリ装置からの着信サービス以外は受け付けられない。したがって、交信中の相手ファクシミリ装置との処理を終了させた後、着信最優先のサブアドレスの相手ファクシミリ装置からの着信を確実に有効とすることができ、送信側ユーザーと受信側ユーザーの手をわずらわせることを解消することができる。

【0013】

【実施例】以下、本発明を実施例に基づいて具体的に説明する。図1～図5は、請求項1～3記載のファクシミリ装置の一実施例を示す図である。図1は、ファクシミリ装置1のブロック図であり、ファクシミリ装置1は、DCR2、SAF3、システムメモリ4、操作表示部5、資源管理部6、ファクシミリ制御部7、スキャナ8、プロッタ9、ラインバッファ10、通信制御部11及びINCUI12等から構成されており、各部はシステムバス13に接続されている。

【0014】DCR（符号化・復号化部）2は、画像データを所定の符号化方式に従って符号化し、また、符号化された画像データを復号化する。SAF（Store And Forward）3は、大容量のハードディスク装置等で構成し、主に画情報を蓄積する。SAF3には、送信用の画情報や受信した画情報が蓄積され、所定期間に読み出されて送信処理や記録処理等が行われる。

【0015】システムメモリ（識別情報記憶手段）4は、ファクシミリ装置1としての基本プログラムや本発明の着信処理プログラム等が格納されている。また、システムメモリ4には、後述する本発明の着信処理用の相

手先識別情報と着サブアドレスを格納するテーブルが格納される。操作表示部5は、テンキーやスタートキー等の各種操作キーを備えるとともに、ディスプレイ（例えば、液晶ディスプレイ）を備え、操作キーからは、送信操作等の各種命令が入力され、ディスプレイには、操作キーから入力された命令内容やファクシミリ装置からオペレータに通知する各種情報が表示される。

【0016】資源管理部6は、システム内で使用可能な資源を管理する。ファクシミリ制御部7は、システムメモリ4内の基本プログラムに従ってファクシミリ装置1の各部を制御して、ファクシミリ装置1としてのシーケンスを実行するとともに、システムメモリ4内に格納された着サブアドレスデータと着信時に後述する通信制御部11で解析された端末識別情報とを比較して本発明の着信処理を実行する。

【0017】スキャナ8としては、例えば、CCD（Charge Coupled Device）を利用したイメージスキャナが利用されており、スキャナ8は、原稿を走査して原稿の画情報を読み取る。プロッタ9としては、例えば、サーマル素子を利用したサーマル記録装置が使用されており、プロッタは感熱記録紙に直接、あるいは、普通記録紙にインクシートを介して間接的に画像を記録する。

【0018】ラインバッファ10は、DCR2によってエンコードあるいはデコードされた画像データあるいはスキャナ8で読み取られた画像データを1ライン毎に格納する。通信制御部11は、図1に示すように、G3CCU（G3ファクシミリ通信制御機能）とG4CCU（G4ファクシミリ通信制御機能）としての機能を有し、図2に示すようにINCUI（ISDN通信制御ユニット）12との間でDチャンネルとBチャンネルが接続されており、G3CCUでBチャンネルを使用中に、G4CCUにDチャンネルからの着呼を受け付けられないような構成となっている。通信制御部11は、G3あるいはG4ファクシミリ通信時、INCUI2を介して相手ファクシミリ装置との間でファクシミリ制御信号の交換を行って通信機能の設定や各種制御情報の交換を行い、G3、G4ファクシミリ通信を制御する。また、通信制御部11は、相手ファクシミリ装置から送信される呼設定メッセージ中の端末識別情報を解析する解析手段としての機能を有する。

【0019】INCUI2は、ISDNに接続され、ISDNのDチャンネルを介して呼制御手順を制御するとともに、ISDNの2つのBチャンネルを介して画像データの授受を制御する。次に、作用を説明する。本実施例では、ISDNのDチャンネルを介してファクシミリ通信中に、ISDNのBチャンネルに着信があった場合の着信処理に特徴がある。

【0020】まず、請求項1記載の発明による着信処理について説明する。図1の通信制御部11においてG3ファクシミリ通信では、スキャナ8から読み込まれた画像データがDCR2で符号化され、SAF3又はラインバ

ッファ10を介してINCUI2からISDNへ送信される。このとき、図3に示すように、相手ファクシミリ装置との呼制御手順は、ISDNのDチャンネルで行われ、呼接続後の画像データ送信は、ISDNのBチャンネルで行われる。

【0021】2チャンネル同時動作が可能なシステムでは、もう一方のBチャンネルによるG4交信が可能であるが、ここでは2つのBチャンネルの同時動作が不可能なものとして説明する。例えば、G3ファクシミリ通信により交信中に、着信があったときは、Dチャンネルが開放されているためINCUI2から着呼があったことが通信制御部11に通知され、通信制御部11からファクシミリ制御部7に着呼を受け付けてもよいかわい合わせが行われる。このとき、着呼に伴って相手ファクシミリ装置から呼設定メッセージにより送信される端末識別情報が通信制御部11で解析されてファクシミリ制御部7に出力され、このとき同時に発番号と着サブアドレスも出力される。このときの呼設定メッセージのデータ構成を図4に示している。

【0022】次いで、ファクシミリ制御部7では、上記図2に示した通信制御部11とINCUI2の間のチャンネル構成により、通信制御部11のG4CCUに対して着信拒否の要求が出力される。このときファクシミリ制御部7では、予めシステムメモリ4に登録されている最優先の識別情報と着信時の識別情報が比較され、一致したときは、現在処理中のG3ファクシミリ通信を中断させる。中断は、現在処理中のページを最終ページとして終了してもよいし、エラーとして回線を開放してもよい。

【0023】したがって、最優先相手ファクシミリ装置からの再着呼を受け付け易くすることができ、ISDNにより交信中の着信最優先の相手ファクシミリ装置からの着信を短時間で確実に有効とすることができ、送信側ユーザーと受信側ユーザーの手をわずらわせることを解消することができる。次に、請求項2記載の発明による着信処理について説明する。

【0024】上記図1のファクシミリ装置1において、G3ファクシミリ通信により交信中に、最優先の相手ファクシミリ装置からINCUI2に着信があった場合、その着信をシステムメモリ4に記憶させ、現在実行中のG3ファクシミリ通信処理を継続させて終了を通信制御部11のG3CCUで検出すると、処理終了がファクシミリ制御部7に通知される。ファクシミリ制御部7では、G3交信中に最優先の相手ファクシミリ装置から着信があったかどうかシステムメモリ4から読み出されて判断される。着信があった場合は、着信以外のサービス（送信、コピー等）を禁止するように資源管理部6に通知され、資源管理部6では、着呼受信以外のサービスは、システムの資源として登録されていないものとして実行されなくなる。

【0025】したがって、最優先の相手ファクシミリ装

置からの再着呼を受けやすくすることができ、交信中の相手ファクシミリ装置との処理を終了させた後、着信最優先の相手ファクシミリ装置からの着信サービスだけを有効とすることができ、送信側ユーザーと受信側ユーザーの手をわずらわせることを解消することができる。次に、請求項3記載の発明による着信処理について説明する。

【0026】上記請求項2記載の実施例における図1のファクシミリ装置1において、最優先の相手ファクシミリ装置以外の相手ファクシミリ装置からの着信拒否時に、着信拒否の相手先番号とサブアドレスがシステムメモリ4に記憶させておく。このとき、実行中のG3CCUの終了方法は、上記請求項1あるいは2記載の実施例のどちらの方法でもよい。G3CCUにおける通信処理が終了すると、上記請求項2記載の発明による実施例と同様に、着呼受信サービスしか受け付けられないようにセットされる。この状態で、NCU12で着呼が検出されると、通信制御部11からファクシミリ制御部7に着呼が通知され、その着呼の発番号と発サブアドレスも通知される。ファクシミリ制御部7では、着呼受信サービスのみでセットされたときの相手先発番号と発アドレスがシステムメモリ4から読み出され、読み出した内容と現在着呼を受け付けた相手先の発番号と発アドレスが一致しているかどうかと比較される。一致している場合は、着呼可の応答が相手ファクシミリ装置に送出され、続いて画像データの受信が行われる。一方、一致しない相手ファクシミリ装置からの着呼の場合は、回線切断手順が実行される。

【0027】したがって、最優先の相手先からの着呼受信を確実に行うことができ、交信中の相手ファクシミリ装置との処理を終了させた後、着信最優先のサブアドレスの相手ファクシミリ装置からの着信を確実に有効とすることができ、送信側ユーザーと受信側ユーザーの手をわずらわせることを解消することができる。以上の請求項1～3記載の発明による着呼処理のフローチャートを図5に示しており、この図5のフローチャートにより一連の着信処理として説明する。

【0028】まず、NCU12で着呼を受け付け、着信内容により通信制御部11のG3CCUあるいはG4CCUに通知し（ステップS1）、通信制御部11で着信信号に含まれる呼設定メッセージ（Setupメッセージ）を解析して相手先識別情報として発番号と発サブアドレスをシステムメモリ4に記憶する（ステップS2、S3）。次いで、通信制御部11がファクシミリ制御部7に着呼受け付け可能かどうかを問い合わせ（ステップS4）、着呼受け付け可能な場合は、続けて画像データの受信処理を実行し（ステップS5）、画像データの受信を終了すると、回線を開放して通信サービスを処理を終了する（ステップS6）。

【0029】一方、ステップS4で着呼受け付け不可の

場合は、着信以外のサービスが資源管理部6で禁止に設定されているかどうかをチェックし（ステップS7）、禁止の場合は、禁止時にシステムメモリ4に記憶された最優先の着信相手ファクシミリ装置の発番号と発アドレスを読み出す（ステップS8）。次いで、読み出した発番号、発アドレスと着信時にシステムメモリ4に記憶した発番号、発アドレスと比較し（ステップS9）、一致するかどうかをチェックする（ステップS10）。一致したときは、続いて画像データの受信処理を実行し（ステップS5）、一致しなかったときは、回線を開放して通信サービスを処理を終了する（ステップS6）。

【0030】一方、ステップS7で着信以外のサービスが禁止されていない場合は、着信時にシステムメモリ4に記憶した発番号、発アドレスを読み出し（ステップS11）、予めシステムメモリ4に記憶された最優先の相手ファクシミリ装置の発番号と発アドレスと一致するかどうかをチェックする（ステップS12）。一致しなかったときは、直ちに、回線を開放して通信サービスを処理を終了し（ステップS6）、一致したときは、資源管理部6に着信以外のサービスを禁止するように設定し（ステップS13）、回線を開放して通信サービスを処理を終了する（ステップS6）。

【0031】以上の着信処理により、2チャネル同時に動作できないファクシミリ装置1であっても着信最優先の相手ファクシミリ装置からの着信を確実に受け付けることができる。送信側と受信側双方のユーザーの手をわずらわせることを解消することができる。なお、上記実施例では、ファクシミリ装置1が2つのBチャネル同時に動作できないものとして説明したが、2つのBチャネル同時に動作していても、Dチャネルが開放されていれば、同様に本願各発明の着信処理が実行可能である。

【0032】

【発明の効果】請求項1記載の発明によれば、相手ファクシミリ装置との間でISDNを介してファクシミリ通信を行い、画情報の送・受信を行うファクシミリ装置において、最優先の着信を許可する相手先識別情報を記憶する識別情報記憶手段と、接続されたISDNからの着信を検出し、該検出した着信信号に含まれる発呼側の呼設定メッセージから相手先識別情報を解析する解析手段と、を設け、ISDNのデータチャネルを介して所定の相手ファクシミリ装置との交信中に、ISDNの呼制御チャネルに着信したとき、該着信信号を解析手段により解析した相手先識別情報と識別情報記憶手段に記憶された相手先識別情報が一致するかどうかを比較し、一致したときは、当該相手ファクシミリ装置とのファクシミリ通信を強制的に終了させ、着信最優先の相手ファクシミリ装置からの着信を優先しているので、交信中の着信最優先の相手ファクシミリ装置からの着信を短時間で確実に有効とすることができ、送信側ユーザーと受信側ユーザーの手をわずらわせることを解消することができる。

【0033】請求項2記載の発明によれば、請求項1記載の発明において、交信中に着信した相手先識別情報が一致したとき、該交信中の相手ファクシミリ装置とのファクシミリ通信を終了した後、該着信以外のサービスが受け付けないようにしているので、交信中の相手ファクシミリ装置との処理を終了させた後、着信最優先の相手ファクシミリ装置からの着信サービスだけを有効とすることができ、送信側ユーザーと受信側ユーザーの手をわずらわせることを解消することができる。

【0034】請求項3記載の発明によれば、請求項1記載の発明において、識別情報記憶手段に相手先識別情報として呼設定メッセージに含まれる着サブアドレスを記憶し、交信中に着信した相手先識別情報の着サブアドレスが一致したとき、該交信中の相手ファクシミリ装置とのファクシミリ通信を終了した後、該着サブアドレスが一致した相手ファクシミリ装置からの着信サービス以外は受け付けないようにしているので、交信中の相手ファクシミリ装置との処理を終了させた後、着信最優先のサブアドレスの相手ファクシミリ装置からの着信を確実に有効とすることができ、送信側ユーザーと受信側ユーザーの手をわずらわせることを解消することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明によるファクシミリ装置のブロック構成

図。

【図2】図1の通信制御部とINCUI間のISDNチャネルの接続構成を示す図。

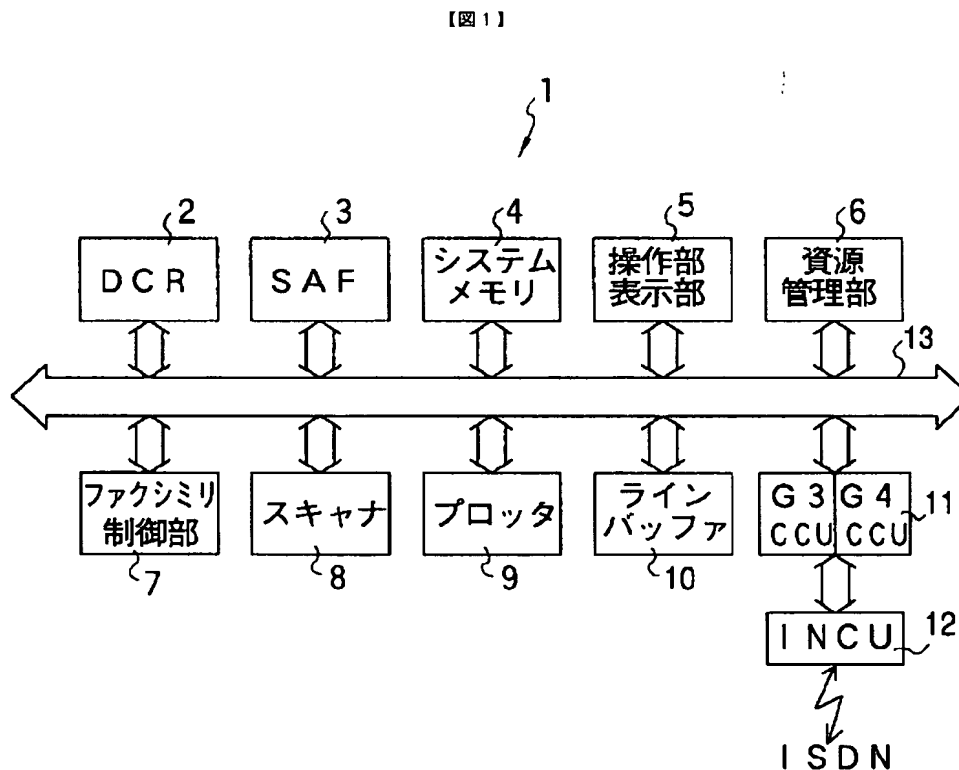
【図3】ISDNの各チャネルによる通信制御シーケンスを示す図。

【図4】図3の呼接続シーケンスにおける呼接続メッセージのデータ構成を示す図。

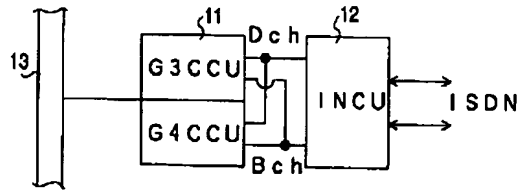
【図5】請求項1～3記載の発明による着信処理のフローチャート。

【符号の説明】

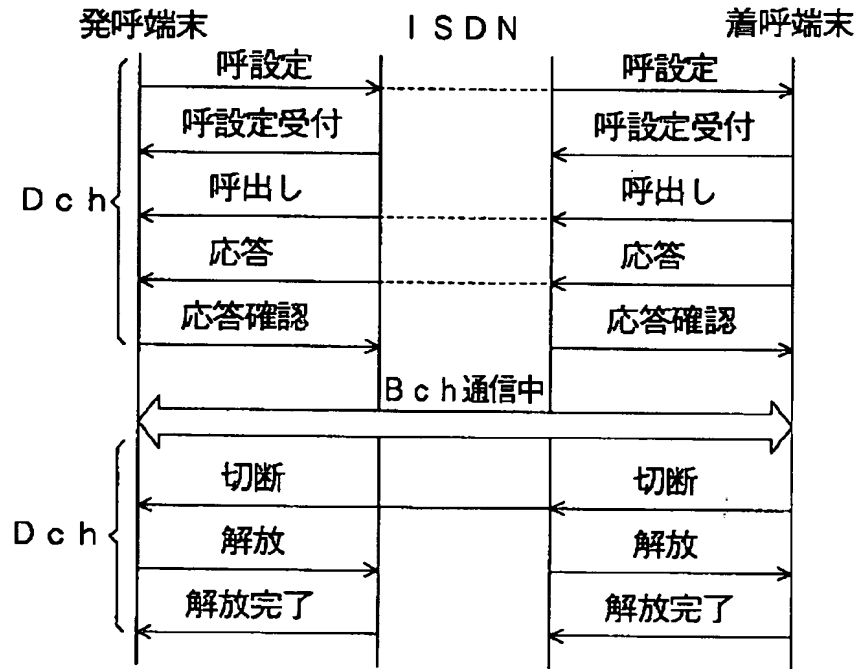
- 1 ファクシミリ装置
- 2 DCR
- 3 SAF
- 4 システムメモリ
- 5 操作表示部
- 6 資源管理部
- 7 ファクシミリ制御部
- 8 スキャナ
- 9 プロッタ
- 10 ラインバッファ
- 11 通信制御部
- 12 INCUI



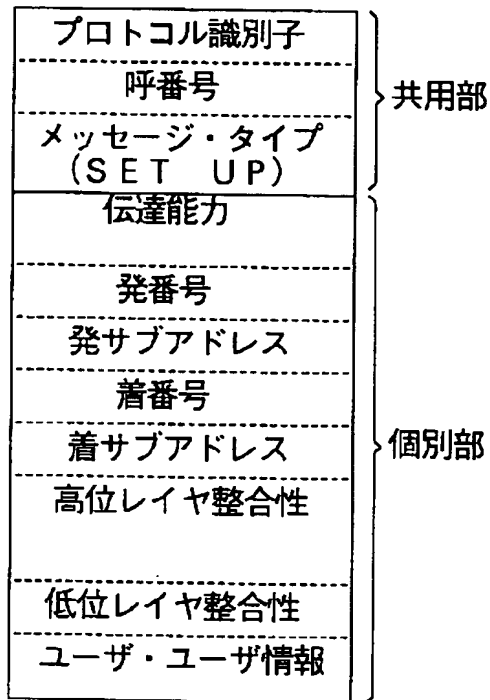
【図2】



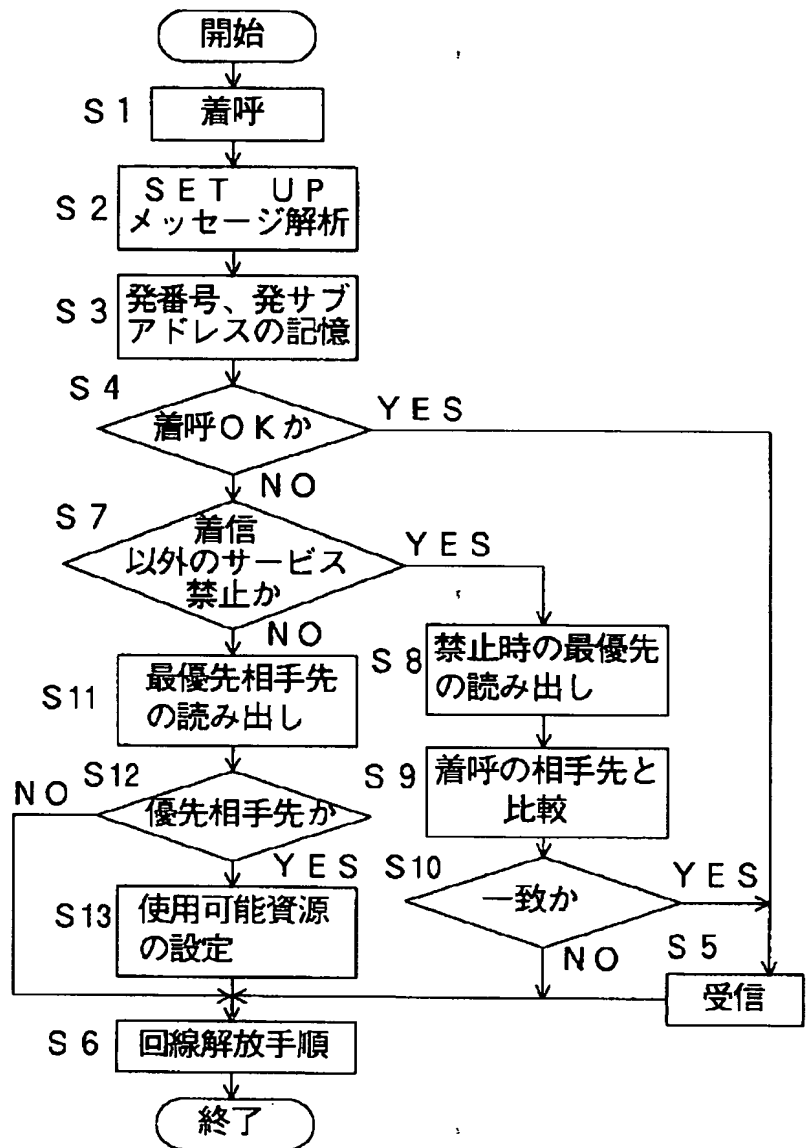
【図3】



【図4】



【図5】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.